

第3章 計画の進行管理

1 目標指標等の設定

第5次総合計画を進めるに当たり、協働によるまちづくりを推進していくために、できる限りわかりやすい目標指標の設定を行いました。

目標指標の設定に当たっては、住民意向調査での満足度調査などにより測定される指標や事業の実施などによって実現あるいは達成を目指すものとししました。計画の進行管理の手段として、町民の満足度を測る住民意向調査を定期的実施していきます。

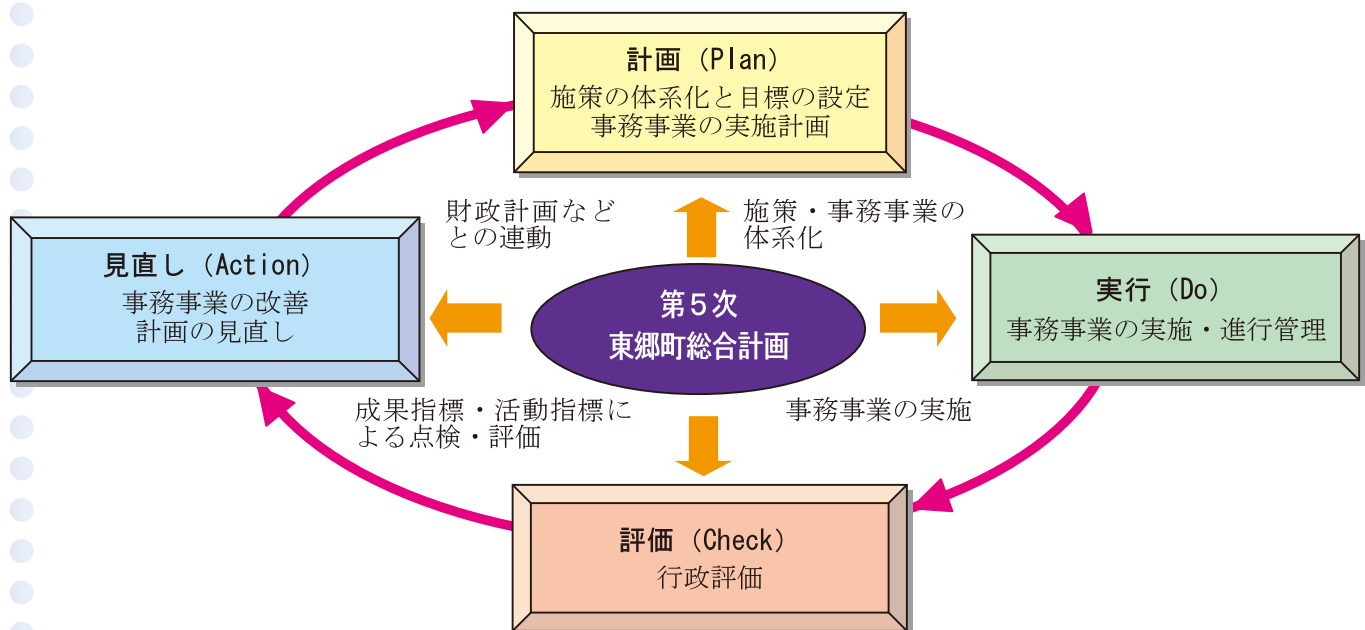
2 計画の進行管理

施策の実施に際しては、施策の実現の手段である事務事業を推進するため実施計画を策定します。そして、実施計画のローリングを毎年行うとともに、施策の方向性についても本計画期間の中間年において見直しを行います。

その進行管理の手段として行政評価システムを活用し、計画、実行、点検、見直しを繰り返すPDCAサイクルによる進行管理を行います。そして、内部評価だけでなく外部評価も活用しながら、事務事業の進行管理や有効性を検証することにより、計画に掲げた施策の目標達成に向け、予算や人材など行政資源の効果的な配分を行います。

3 行政評価との連動と行政資源の効果的な配分

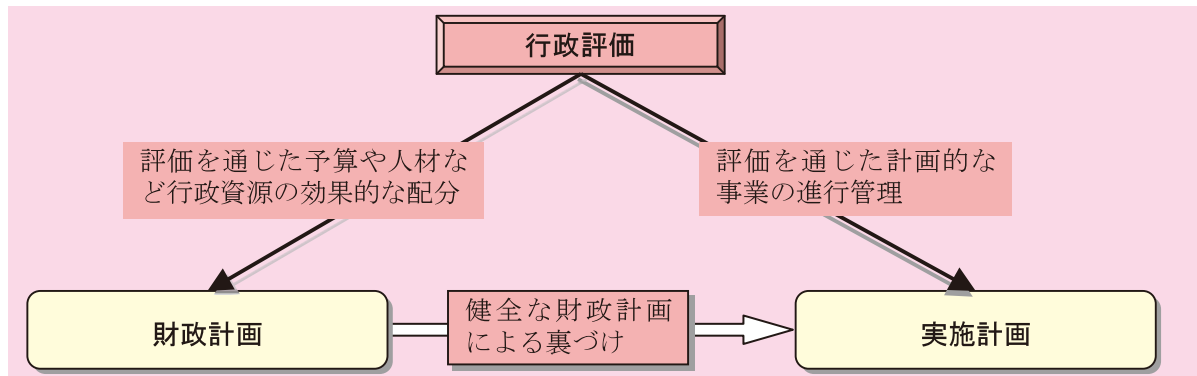
計画の進行管理には、総合計画に基づく事務事業を Plan とした PDCA サイクルを構築し、Check—Action の機能としての行政評価を実施し、行政資源の効果的な配分を行います。



4 財政計画との連動

第5次総合計画を実現するためには、健全な財政計画による財政の裏づけが必要となります。実施計画と財政計画が連動していくためにも、適切な進行管理を行い、総合計画の実現に向けた効率的な行政運営を行っていきます。

財政計画との連動



本町の歳入、歳出の推移

